Destination Yamaguchi

維新の風が誘(いざな)う。おもしろき国 山口

幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン

維新の風が誘(いざな)う。おもしろき国 山口

幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン

2017年 9月～12月

JRグループと山口県は、9月から12月まで大型観光キャンペーン「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」（山口DC）を開催する。山口県では、2018年の明治維新150年に向けて、幕末の志士「高杉晋作」をメーンキャラクターに、幕末維新をテーマとした観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」を全県で展開。山口DCはその中核事業として実施される。また8月5日から運行を開始した山陰線観光列車「○○のはなし」、山口DCにあわせて運転されるSL「やまぐち」号の新製客車も注目を集めている。「デゴイチ」の愛称で親しまれた「D51形蒸気機関車」が11月25日にSL「やまぐち」号で復活する。SL関連のイベントも山口DC期間中に集中して開催される。また今年話題を集めた「トワイライトエクスプレス 瑞風」は下関を発着駅とし、萩と岩国で立ち寄り観光が行われている。

山口DC概要

「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」（山口DC）キャンペーンのキャッチフレーズは「維新の風が誘（いざな）う。おもしろき国山口」。

テーマは「物語ISHIN」、「感動ISHIN」、「ぶちうま！ISHIN」、「悠々ISHIN」、「体感ISHIN」、「おもてなしISHIN」、「おもてなしISHIN」。様々なキャンペーンイチオシ企画やテーマ別特別企画を設定した。

さまざまなキャンペーンイチオシ企画を設定
瑞風、SLや新観光列車など話題の鉄旅が充実

満喫バス」を運行。山口県の絶景を手軽に満喫できる観光バスとなっている。新山口駅の接続を便利にした。

行程は湯田温泉（9時30分発）～新山口駅（10時5分発）～道の駅 北浦街道 豊北～浦街道 豊北～角島大橋・角島灯台～元乃隅稲成神社～長門市駅～長門湯本温泉～新山口駅（18時10分頃着）～湯田温泉（北九州市内も含む）の宿泊者を対象にした「関門海峡ぐるっと夜景バス」が毎週土曜日に運行される（12月31日を除く）。

角島大橋・角島灯台～道の駅 北浦街道 豊北～下関駅（13時25分着）～新下関駅（13時55分着）。

9月からは下関市内工場夜景特別鑑賞プラン「白壁の町並みで金魚ちょうちんライトアップ」

一般的に「美人湯」と呼ばれるはアルカリ性の軟水系の温泉。肌表面の余分な皮脂や角質を溶かして（オフして）くれることや豊かな自然環境に包まれた温泉が県内各地に点在し、心のオフ（休暇）にもなると、山口県は「オフ泉県」としてアピールしている。

やまぐちの温泉・湯めぐりキャンペーンでは、「キレイになりたい女子」をメーンターゲットとした湯めぐりキャンペーンです。温泉地の魅力や、絶景と癒しスポットやグルメに関するパンフレットを発行。さらに、「オフ泉県やまぐち」の魅力をSNSで拡散すると抽選でスペシャルプレゼントが当たる。

「サイクル県やまぐちProject」「セメントの道 石灰石鉱山と宇部興産専用道路」

テーマ別特別企画の例

物語ISHIN（歴史・文化）
「松陰神社宮司による松陰講話」「岩国藩鉄砲隊 訓練披露」「古地図を片手にまちを歩こう」

感動ISHIN（美しい景観（自然・夜景））
「やまぐち・おもてなし竹灯楼」「関門海峡ぐるっと夜景バス」「周南工場夜景特別鑑賞プラン」「白壁の町並みで金魚ちょうちんライトアップ」

ぶちうま！ISHIN（美酒・美食）
「秋の錦帯橋『地酒舟』」「幸せを呼ぶ やまぐち福（ふく）キャンペーン」「歴史的建造物で味わう特別なグルメプラン」

悠々ISHIN（地方ならではの癒し（温泉・寺社体験・田舎体験））
「湯田温泉ワンコインツアー」「名刹・漢陽寺で写経・座禅体験」

体感ISHIN（自然体験、社会体験）
「ときわ動物園スペシャルイベント」「秋芳洞闇のロマン探検」

秋の錦帯橋「地酒舟」
岩国市の錦帯橋では「地酒舟」が催される。錦川に浮かぶ遊覧船で、錦帯橋と紅葉に染まる秋景色を楽しみながら、岩国5蔵の地酒の飲み比べや郷土料理の弁当を味わえる。乗船料3千円（地酒、お弁当代含む）。

期間は、貸切船が9月11日～11月30日。11時から12時のうち60分間。8人以上での予約が必要。

乗合船は9月16日～11月25日の毎週土曜日11時～12時での運航が予定されている。参加者2人未満の場合は運航を中止となる。2日前までの予約が必要。

キャンペーンイチオシ企画

「やまぐち絶景満喫バス」
海外メディアも注目し国内外の観光客に人気急上昇中の「元乃隅稲成神社」（もとのすみいなりじんじゃ）や山口県を代表する絶景スポットとなっている「角島大橋」等をめぐる「やまぐち絶景満喫バス」を運行。山口県の絶景を手軽に満喫できる観光バスとなっている。新山口駅の接続を便利にした。

行程は湯田温泉（9時30分発）～新山口駅（10時5分発）～道の駅 北浦街道 豊北～角島大橋・角島灯台～元乃隅稲成神社～長門市駅～長門湯本温泉～新山口駅（18時10分頃着）～湯田温泉（北九州市内も含む）の宿泊者を対象にした「関門海峡ぐるっと夜景バス」となっている。

下関駅（13時25分着）～新下関駅（13時55分着）。

9月からは下関市内（北九州市内も含む）の宿泊者を対象にした「関門海峡ぐるっと夜景バス」が毎週土曜日に運行される（12月31日を除く）。

国内向けとインバウンド向けを初めて同時開催
JR西日本と山口県では「名探偵コナン 幕末維新やまぐちミステリーツアー」を開催中。期間は18年1月31日まで。

今回は山口DCにあわせ、幕末の志士たちゆかりの地を巡りながら本格推理が楽しめる内容とした。今回はスマートフォンやパソコンで出発前にツアーストーリーを読むことができる。ツアー終了後はTVアニメの放送を予定しており、旅の出発前も出発後も楽しめる。

チェックポイントは萩エリアでは、萩・明倫学舎、萩城跡（指月公園）、松陰神社。山口エリアでは、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」、香山公園前観光案内所。お楽しみスポットとしては、旧秋田商会ビル（下関市）、ときわミュージアム（宇部市）、防府市まちの駅うめてらす、岩国市観光交流所「本家松がね」。お楽しみスポットでは、チェックポイントの手がかりに追加して事件解決のための「お助けヒント」がもらえる。記念ピンバッジのプレゼントやコナン君たちと一緒に写真が撮れるAR記念撮影などお楽しみ企画を用意した。

発地エリアは首都圏、中京圏、京阪神、北陸、中四国、九州。

同ツアーへの参加には、JRと宿泊がセットになった対象の旅行商品または「やまぐち幕末ISHINきっぷ」の購入が必要となっている。

ツアーキット引換箇所は、新山口駅構内「新山口駅観光案内所」（9時～18時）、下関駅構内「下関駅観光案内所」（9時～18時）、岩国市観光交流所「本家松がね」（9時～17時）、萩・明倫学舎（9時～17時）のいずれか。

訪日外国人旅行者向け「名探偵コナンやまぐちミステリーツアー」
台湾と韓国からの訪日外国人旅行者向けに2018年3月31日まで開催。

「名探偵コナン」はアジアでも人気があり、インバウンド向けの「名探偵コナンやまぐちミステリーツアー」は国内参加者に迫るほど近年利用者が増加している。同ミステリーツアーでは山口エリアの5カ所（チェックポイント）の観光地を巡りながら「名探偵コナン」の世界で本格推理をを楽しめる。基本的な内容は国内向けと同じ。

同ツアーへは、JR西日本の訪日外国人向け商品の山口レールパス（3日間用または5日間用）か、「コナン参加券」が必要。

「コナン参加券」は、山口エリアを含むJR—WEST RAIL PASS（山陽・山陰エリアパス、広島・山口エリアパス、岡山・広島・山口エリアパス）の購入者を対象にJR西日本の指定の駅で販売する。

やまぐち幕末ISHINきっぷ
発駅から山口自由周遊区間までの往復新幹線普通車指定席、自由周遊区間内のJR線・指定の路線バスの3日間乗り放題と、施設の入場がセットになったきっぷ。1人からの購入で発出発日の前日まで発売される。「名探偵コナン 幕末維新やまぐちミステリーツアー」に参加できる。

発売期間2018年1月30日まで。利用期間2018年2月2日まで。有効期間は3日間。利用の1カ月前から前日まで購入可能。「名探偵コナン 幕末維新やまぐちミステリーツアー」の実施期間は2018年1月31日までなので注意が必要。

フリー区間（山口自由周遊区間）内では、「かえり券」でJR線（在来線特急列車・普通列車の普通車自由席）及び路線バス（中国JRバス、防長バス、サンデン交通、萩循環まぁーるバスの指定路線）が乗り降り自由。

SL「やまぐち」号など普通列車の普通車指定席を利用する場合も、座席指定券の購入が別途必要。

小児は大人の半額。小児用は、大人と同一行程での旅行に場合に限り発売（小児のみでの利用はできない）。

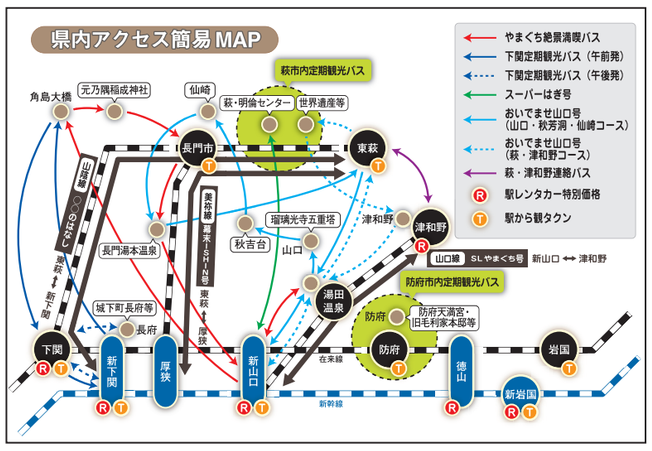
「かえり券」で入場できる施設は「萩・明倫学舎（2号館）」（1回）、「萩城跡（指月公園）」。大阪市内発着の料金はおとな2万2千円。きっぷについて詳しくは「トクトクきっぷ」で検索を。

復活運転するD51

定番の絶景スポットとなった角島

人気急上昇の元乃隅稲成神社

萩・明倫学舎



キャンペーンの詳しい内容、問い合わせ先は

JRおでかけネット　検索　へどうぞ。

http://www.jr-odekake.net/

幕末維新やまぐち ミステリーツアー

©青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS 1996

山口観光のシンボル SL「やまぐち」号

新製客車展望室

SL「やまぐち」号新製客車
1979年の復活から38周年を迎える、山口県観光のシンボルともいえるSL「やまぐち」号。山口DCに合わせて、SL関連の記念イベントを集中的に開催される。

9月2日からは山口DCにあわせてSL全盛期の客車を復刻した新しいレトロ客車で運転を開始。

運転日は9月から12月の土休日中心で1日1往復の運転。11月23日、12月30日と31日は運転されない。運転区間は、新山口～津和野駅間。新しいレトロ客車（新客車5両）の定員は245人。グリーン車23席、普通車222席となる。1号車がグリーン車で、座席はリクライニング。コンセントも設置されている。一部はボックスシート。1号車の展望デッキや寄りにはフリースペースの展望室がある。グリーン車専用の展望スペースもある。

3号車にはSLの歴史や仕組みを学べる展示スペース、SL運転を体験できる「運転シミュレーター」（機関士体験走れる「D51形蒸気機関車」が「全国SLサミットinやまぐち」にあわせて復活する。

また、JR西日本は台湾鉄路管理と、6月24日に2014年に動態復元した台湾鉄路管理局CT273列車と、JR西日本山口線で運転しているC57—1列車「SLやまぐち号」との姉妹列車協定を締結した。

1号車

2～4号車

観光列車「○○のはなし」

新観光列車「○○のはなし」が好調

JR西日本では、8月5日から山陰線（新下関～下関～長門市～東萩駅）で新しい観光列車「○○のはなし」（まるまるのはなし）の運行を開始した。列車名には、本州最西端で、響灘や日本海に面し、美しい海岸美が続く山陰線沿線には、日本と西洋をひき合わせた志士達の歴史や文化、食などについて、さまざまな「はなし」（萩）、な（長門）、し（下関）」を感じられる催し物を用意。

外観イメージは、本州最西端の山口県（萩、長門、下関）は、日本と西洋をひき合わせるきっかけとなった歴史が息づくことにちなみ、「西洋に憧れた日本（洋）、西洋が憧れる日本（和）」をコンセプトに、2両別々のデザイン。外装には「洋と和をつないだ海」が2両にまたがり、この地の歴史を見守ってきた花と「夏みかんの花」、「ハマユウ」を各所にあしらった。

内観イメージは本州最西端の響灘や日本海の海岸美を楽しめるように、窓枠を極力大型化したほか、海側を向いた座席を配置（ボックス席を除き）。沿線の自慢の品々が買える販売カウンターや、さまざまな「はなし」に出逢えるイベントスペースを設置した。

乗客を対象に、こだわりの弁当なども販売され好評だ。「夢のはなし弁当」は幕末の志士、高杉晋作も愛した下関の老舗料亭「古串屋」の自信作。「長門おとずれ弁当」は長門湯本温泉「大谷山荘」の料理長監修による厳選された日本海の幸や長州地どりをはじめ、地元の食材にこだわった。対象列車は新下関駅・下関駅発、東萩駅行き上り列車。価格は250円でペットボトルのお茶付き。

東萩駅発、下関駅・新下関駅行き下り列車では、「萩のお猪口とおつまみセット」（1500円）と「萩のスイーツセット」（1200円）を販売している。快速列車（全車指定席）の2両編成で1日1往復の運転。定員は60人（洋32人、和28人）。乗車券のほかに、座席指定券（520円）が必要。運転日は土曜日、日曜日、祝日を中心に運転。

1号車

2号車

車窓

夢のはなし弁当